



ケトン体情報（BHB）で周産期対策！

平成 30 年 7 月から Web システムDL で提供を開始

ケトーシスは、乳量の低下に加えて、他の疾病、繁殖性低下に繋がる厄介な問題です。

獣医さんのお世話になる牛は氷山の一角、その陰には多くの**潜在性ケトーシス牛**が存在すると思われま。DL で BHB 情報を活用し、「**目に見えないロス**」を儲けに変えましょう！



牛群の「潜在性ケトーシスの発生」をモニター

まずは、群の視点から周産期の管理技術を点検しましょう！
注目は、泌乳初期（初回検定）の高 BHB 牛の発生割合です。



1) グラフ参照 総合グラフ／カイゼンレポート

全道の農場を比較対象として、自分の課題を発見できるレポートです（過去 1 年間の集計値）。

全道・地区・同規模の農場と比べて、「初回検定時の高 BHB 牛の割合」は、どのような数値になっていますか？ 早速確認してみましょう！



Check!

潜在性ケトーシスが疑われる牛の比率です

2) グラフ参照 個体検定日グラフ（BHB）

次に最新検定日の BHB の分布を確認しましょう。
縦軸は BHB、横軸は 分娩後経過日数です。

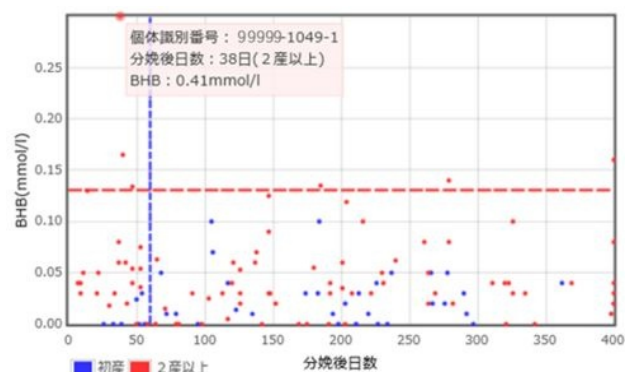
分娩直後（分娩～15 日）に高 BHB 牛が多い場合、
分娩前からのエネルギー不足が疑われます。

分娩間隔が長く、**とり過ぎで分娩を迎える牛には
注意が必要**です。

全乳期で高 BHB 牛が発生している場合、酪酸発酵
サイレージなど、飼料の品質を確認しましょう。



カーソルをあわせると、牛を確認できます



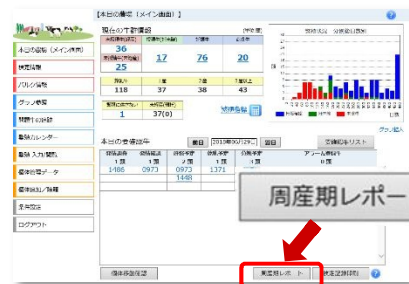
3) 周産期対策レポート



メイン画面、繁殖一覧、データ出力 等から選択

潜在性ケトーシス、乳房炎、死産事故など、周産期管理に関する情報を集計しています。

疾病情報 等を入力して頂いているユーザーには、より充実した集計値をお届けできます。管理手法の課題を検討し、生産性の向上にお役立てください。



★産次別の分娩時の状況（直近6カ月）

- ・難産/死産の発生
- ・分娩後の死産頭数
- ・乳房炎の罹患状況
- ・潜在性ケトーシスの発生状況（全道平均と比較） など

分娩前後の乳房の健康状態

[左 下のゾーン]

健康に分娩を乗り切った牛

[左 上] 新規の感染

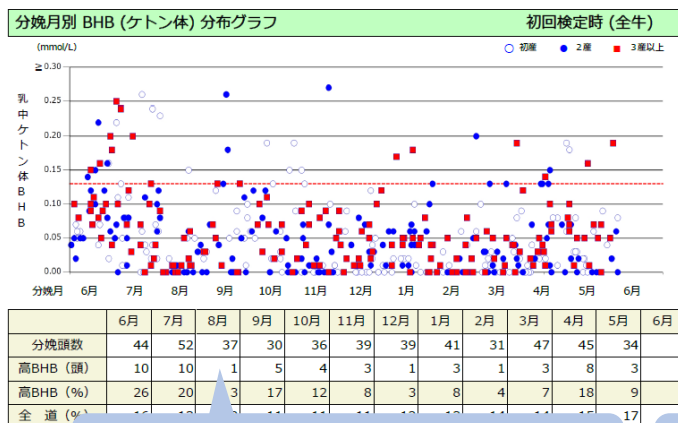
[右 上] 乾乳期治療 不適切

[右 下] // 適切

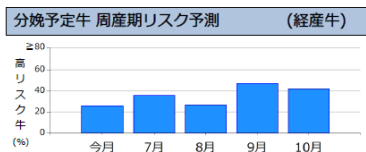
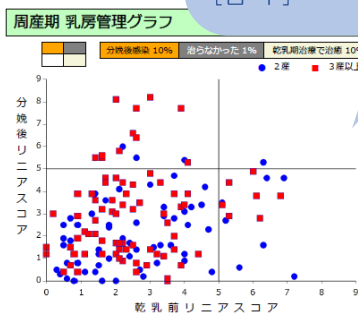
周産期対策レポート（牛群）

分娩実績サマリー（産次別）										
産次	分娩頭数	分娩状況		分娩後死産頭数	低乳量	リニアスコア		高BHB		分娩後疾病歴
		難産	死産			初回	乾乳前	頭数	比率(%)	
初産	92	18	—	—	7	16	—	3	4	8
2産	69	5	15	1	1	5	10	14	10	12
3産以上	87	8	25	2	3	9	15	8	7	18
牛群全体	248	31	40	3	4	21	41	22	20	13

○難産：分娩難産率≥4 ○高BHB：初回検定0.13mmol/L以上 ○低乳量・疾病歴はDL情報・設定に基づく



過去1年の初回検定 BHB の集計結果
(赤線：危険値 0.13mmol/L)



	今月	7月	8月	9月	10月
分娩予定(頭)	23	34	45	49	34
高リスク牛(頭)	6	12	12	23	14
リスク区分					
過肥注意牛	4	8	7	15	8
乳房炎牛	2	5	5	11	7
高BHB履歴	—	—	—	—	—

直近の分娩予定牛の周産期リスクを予測
(過肥注意牛、前産の高BHB牛など)



2ページ目以降に、分娩予定牛リスト/分娩牛リスト をご用意しています。

リストを使って、これから乾乳や分娩を迎える牛を見守りましょう！

分娩予定90日以内 個体リスト										
個体識別番号	産次	分娩後日数	分娩予定まで日数	予定乾乳日数	過肥注意	乳量(kg)	体細胞数(千/ml)	注意	今乳期高BHB	疾病履歴(今乳期)
1129 6	3	354	56	*117	○	10.7	*489	○		第四胃変位
1308 2	1	400	48			19.7	106			
1302 0	1	381	26	54		19.9	87			
1159 3	3	362	23	54		19.4	294	*		第四胃変位
1257 4	2	338	21	52		18.8	*728			
1192 0	3	352	16	49		29.1	51			
0848 8	6	339	8			10.9	*8766	○	*	乳房炎他
1023 6	4	544	超過	*120	○	16.0	169		*	蹄病
1282 6	1	496	超過	38	○	17.8	51			

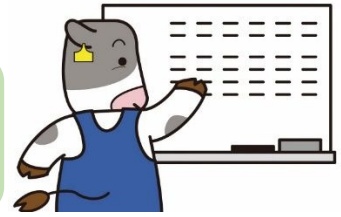


分娩時のリスクを
コントロールしよう！

4) 問題牛の追跡 問題牛の追跡メニュー

問題を抱えた牛だけを 集中管理できる機能です。

新たに追加された BHB 情報を利用して、問題牛の特定と早めのケアを行いましょう！



チェックすべき牛（問題牛）だけを抽出

情報を絞り込んで表示するので、大規模農場でも簡単にデータを管理できます。

初期画面では、分娩後日数順に牛が並んでいます。表の上段に表示されている 泌乳初期の高 BHB 牛 に着目しましょう。

ご自身で入力された情報（疾病・乳房・管理メモ）も併せて管理できます。



問題牛の抽出条件は 農場毎に設定できます（条件設定画面 条件設定 ）

【問題牛の追跡】

項目名をダブルクリックすると、
選択したデータで牛が並び替わります

BHB 項目を追加しています！

淘汰 予定	対策	個体識別番号	群	産次	分娩後日数 本日 検定時	乳量 (kg)	前月比 (%)	体細胞数 (千)	新規 感染	BHB	乳脂率	蛋白率	無脂固形 分率	MUN	高BHB 回数	L
☐	☐	[3366]8	F	3	74 41	50.0	96.3	92		0.13	3.70	2.70	8.13	13.5	1/2	0
☐	☐	[2890]5	F	4	76 43	47.1	123.0	27		0.11	4.95	2.92	8.43	13.8	0/2	0
☐	☐	[3913]9	B	1	86 53	33.3	114.8	19		0.02	3.48	3.10	8.81	10.4	0/2	0
☐	☐	[3360]6	C	3	97 64	30.2	141.8	36		0.22	3.98	3.06	8.68	10.3	1/2	0
☐	☐	[3176]6	C	3	98 65	24.7	49.9	34		0.00	4.32	2.42	7.70	10.4	0/2	0
☐	☐	[3543]4	C	2	106 73	39.3	91.6	27		0.06	3.54	2.84	8.39	10.6	0/2	0
☐	☐	[3731]9	B	1	120 87											0
☐	☐	[3128]5	B	1	120 87											0
☐	☐	[3128]5	B	1	121 88	39.9	97.3	24		0.02	3.97	2.99	8.37	11.3	1/3	0
☐	☐	[3128]5	C	4	122 89	34.0	92.1	107		0.00	3.18	2.87	8.52	11.6	0/3	0
☐	☐	[3128]5	C	3	122 89	34.8	99.7	43		0.07	3.58	2.67	8.09	10.2	0/3	0
☐	☐	[3128]5	C	4	122 89	34.8	80.4	23		0.03	3.88	2.97	7.92	11.1	0/3	0

牛番号をクリック

過去からの繁殖情報、乳検情報
を確認できます



個体情報画面にも BHB を追加

システム内で 個体識別番号で検索、またはクリックすると、
個体の詳細情報を確認することができます。前乳期の BHB も
確認できますので、繁殖成績と併せて分析しましょう！

検定日	分娩後 日数	産次	乳量(kg)	乳脂率(%)	蛋白質率(%)	無脂固形分率 (%)	体細胞数 (千/ml)	リーア スコア	MUN(mg/dl)	BHB
2018/06/10	51	4	37.8	3.5	2.7	8.14	392	5	6.3	0.13
2018/05/10	20	4	38.2	4.81	2.92	8.37	766	6	6.6	0.14
2018/04/03	495	3								
2018/03/06	467	3								
2018/02/07	440	3	19.1	3.35	3.71	8.75	635	6	11.1	0.05
2018/01/09	411	3	19.3	3.29	3.64	8.77	455	5	7.4	0.04
2017/12/07	378	3	20.8	3.6	3.67	8.91	809	6	8.4	0.02
2017/11/09	350	3	22.2	2.61	2.68	8.82	600	6	6.6	0.05

乳成分異常

表示条件: 乳成分
表示選択: 要対策牛
並び替え: 分娩後日数 昇順 抽出条件

3366-8	対策済み
産次	3産
分娩後日(検定時)	74日(41日)
繁殖ステージ	未授精(経産)
乳量	50.0kg
乳脂率	3.70%
BHB	0.13 mmol/l
体細胞	92千/ml
乳蛋白率	2.70%
潜在性ケトシス(乳)	

牛舎ではモバイル版が
お勧めです！

